

いたばし区文化財

ぶらり れきしさんぽ

いたばし



板橋区教育委員会

いたばし 板橋エリア



もくじ

ページ
3

え ど じ だい たび
江戸時代の旅

ページ
5

いたばししゅく
板橋宿のうつりかわり

ページ
7

いたばししゅく
板橋宿の「おでかけスポット」

ページ
11

か が はんまえ だ け え ど し も や し き
加賀藩前田家江戸下屋敷

ページ
13

いたばししゅく
板橋宿 いた・来た！

ページ
15

なかせんどういたばししゅく ふうけい
中山道板橋宿の風景

なかせんどう いたばししゅく
中山道、板橋宿ときいたことはありますか？

これは、今から400年ほど前の江戸時代に

つくられた大きな道と駅えきのことです。

大きな道を街道かいどう（○○道）、駅えきを宿しゅくや宿場しゅくば（○○宿）といいました。

なかせんどう え ど きょうと
中山道は、東—江戸（今の東京）と西—京都をつなぐ大きな道のひとつで、
いたばししゅく え ど しゅくば
板橋宿は江戸から数えて1つめの宿場でした。

なかせんどういたばししゅく
むかしの中山道板橋宿は、どんなところだったのでしょうか？

え ど じ だ い た び か い どう し ゅ く 江戸時代の旅 — 街道・宿とは？ —

かいどう しゆく え ど じ だ い とくがわいえやす
街道・宿は、江戸時代がはじまるころに、徳川家康という人がつくりました。
いえやす え ど え ど ばく ふ
家康は戦国時代を終わらせ、江戸に国をまとめる役所「江戸幕府」をつくった
ぶしやう
武将です。

ごかいどう 五街道

中 山 道	69	宿 の 数
東 海 道	53	
甲 州 道 中	44	
日 光 道 中	21	
奥 州 道 中	10	

てんのう
京都：天皇がいるところ



江
戸
四
宿
江
戸
か
ら
1
つ
目
の
宿

え ど
江戸 = 国をまとめる中心地

- 江戸城
- 江戸幕府
- 大名が江戸でくらすやしき



え ど まち
江戸と京都や大きな町をつなぎ、
べん り あんぜん
人・モノを便利・安全に運ぶ



一旅のすがた・もちもの一

200 年前の
いたばしゅく
板橋宿のようす



木曾街道板橋之驛 溪斎英泉画 天保6年(1835)(板橋区立郷土資料館 所蔵)



庶民と馬



参勤交代の大名



まえか
エプロンのように使う前掛け



ほうい
方位じしゃく



書く・計算する道具



持ち運び用のお酒入れ

いたばししゅく

板橋宿のうつりかわり

はじまり、400 年前のようす

400 年前

これは、徳川家の将軍が行った場所、そこでのできごとをかいた絵。
絵には、中山道板橋宿もかかれています。

00 なにがにいるかな？

江戸図屏風（板橋部分）（国立民俗歴史資料館所蔵）



木がたくさん！

人や馬が行き来しています！

シカがたくさん！

板橋と書いてあります！

400 年前の板橋宿のまわりは…

- たくさんのシカ
- 徳川将軍家の林が広がる



徳川家の将軍が、江戸から来て

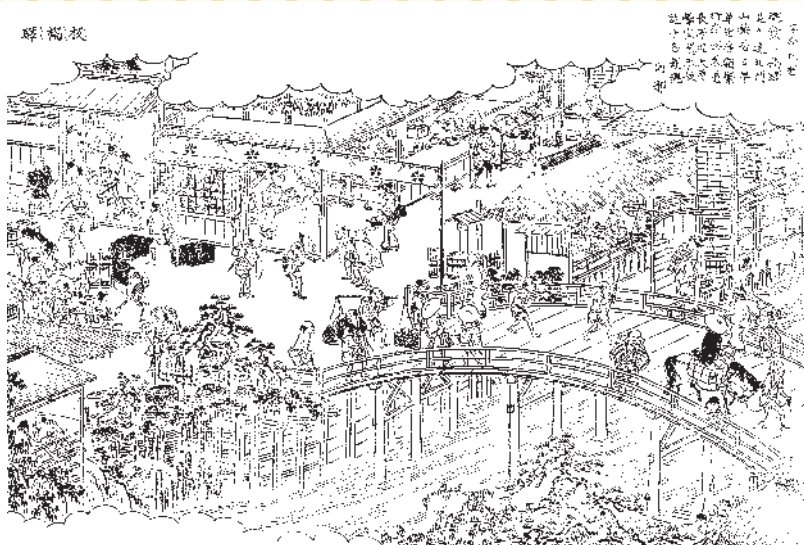
◎ 狩りをする ⇒ 刀や弓矢をつかい戦いの訓練をする場所
＋ 狩りの前やあとに、近くの宿やお寺で休けいもしました

いたばしゆく にぎやかな板橋宿

200年前

えど いたばしゆく
ゆうめい かんこうち
えどめいしよずえ
江戸の近くの有名な観光地のガイドブック『江戸名所図会』に、板橋宿もしょうかいされています。

『江戸名所図会』天保七年（一八三六）（板橋区立郷土資料館所蔵）



板橋宿のおでかけスポットをめぐってみよう！

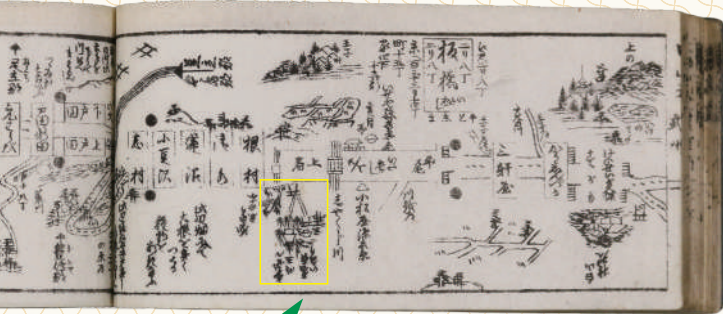




おでかけ スポット

『五海中細見記』(板橋区立郷土資料館所蔵)

えんきりえのき
わる 悪い縁を切る 縁切履



今から150年以上前に書かれた江戸時代のガイドブックに
とうきち 藤吉いなり、あい みょうおう 愛ぜん明王と昔の字で書いてあります。
ちせいじ にちようじ 智清寺と日曜寺の事です!

お守り札が
あった!

こんなところに橋が!
昔の川のあと



豊臣秀吉ゆかりの
お稲荷さん ちせいじ
智清寺

あいぜんさまは
にちようじ
日曜寺



徳川家の親せき田安家ゆかりのお寺。
本尊の愛染明王(あいぜんみょうおう)がいる世界をかいた絵は田安家からのおくり物。▶

◀ 豊臣秀吉(木下藤吉郎) ゆかりのものと伝わる木下出世稲荷(※)をまつるお寺。
キツネに女神が乗った姿です。江戸時代、この稲荷のお守り札も配っていました。

愛染曼荼羅(日曜寺田安家奉納仏画) ※

※ ふだんは公開していません。

大きさはなんとたて3m×よこ2m!

なかじゅく なぬし
中宿の名主のお寺

もんじゅいん
文殊院



- 中宿の名主（飯田家）ゆかりのお寺。もとはお地藏様のお堂でした。江戸時代、加賀藩下屋敷で働いていた「飯田静の碑」もあります。

- えんま様や足腰の守り神「子のごんげん」、板橋七福神の毘沙門天もいます。



へんじょうじ
遍照寺
馬とゆかりのある



遍照寺「遍照寺参詣図」絵馬（複製）

- 江戸時代には、荷物を運ぶ馬を集める場所がありました。境内には、馬の守り神や供養の石碑「馬頭観音」があります。

- 絵馬は昔の記念写真。絵馬から当時の服などがわかります。



ミニチュア富士山がある
ひかわちょうひかわじんじや
氷川町氷川神社



- 江戸時代、富士山にのる文化が広まりました。だれでも富士山にのぼった気持ちになれるよう、人工の富士山があちこちで造られました。



富士山にのる人たちの旗

板橋宿から今は赤塚の地に
将軍もおとずれた 乗蓮寺



『江戸名所図会』「乗蓮寺」

- 今は赤塚にある乗蓮寺ですが、江戸時代には板橋宿にありました。



高さ約2m！建てた人々の名前がある



ひらおしゅく とよだ け
平尾宿、豊田家が
大切にしてお寺

かんみょうじ
観明寺

- 約 400 年前の
石塔「庚申塔」。
平尾宿の人々が
長生きをいのつ
て建てた記念碑
です。

- 仏画は名主（豊田家）がおくったもの。
- 「不動三尊像」は不動通りの由来の仏様。

釈迦十六善神図（観明寺豊田家奉納仏画）



平尾宿の人がお寺におくった仏様の絵



仏涅槃図（観明寺豊田家奉納仏画）

大きなお地蔵さまがいる
とうこうじ
東光寺



500 年以上前にできたお寺。か が
藩下屋敷ができたとき、今の場所
に移りました。

お寺にある約 400 年前の庚申塔、
約 300 年前のお地蔵様は、お寺
の人、平尾宿、加賀藩下屋敷の
人たちが建てたものです。



あと
ちょっと！
中山道
江戸
→

板橋宿の

グルメおやすみ

どこ

板橋宿で
ひとやすみ



和宮様御下向御触書留
(飯田侃家文書)



いたばしりゅう
板橋宿をとった姫の家来
が食べたごはん(イメージ)

これはなんなん？
あ、はい、明王と書いてあります



なんて
読む？

ヒント
今でも食べる
メニューです
(答は下)

全 御休泊所 津國屋九兵衛	二 料理 御休泊所 桐野屋三兵衛	彦 料理 御休泊所 加賀屋三太郎	中山道板橋平尾町 市野屋彦兵衛
---------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------

出前もできます！

川魚一式	神茶漬酒肴 加賀屋九兵衛	練馬大根種 清水権左衛門	中山道板橋平尾町 清水権左衛門	中 料理 御休泊所 伊勢屋平六	平 料理 御休泊所 伊勢屋平六	上 料理 御休泊所 伊勢屋平六
------	-----------------	-----------------	--------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

名産品は夏にとれる大根、にんじん

おみそ ツス ①: ゴキウ

中山道
中商人鑑全

- ちくにくるられる料理
- おやすみ処あり

大名の別荘地

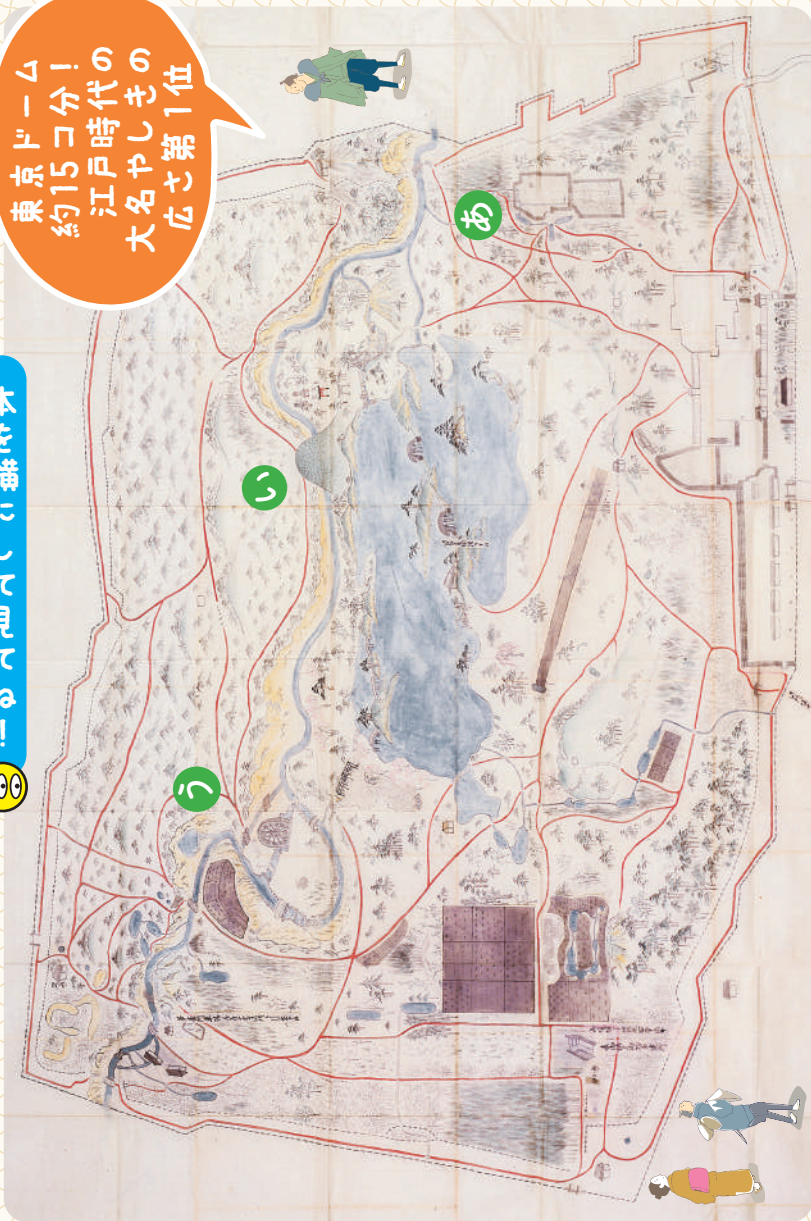
加賀藩前田家江戸下屋敷

全体図



東京ドーム
約15コ分！
江戸時代の
大名やしきの
広さ第1位

本を横にして見てね！



今の石川県金沢市

＼ココ！／

江戸日本橋▶

上屋敷 大名が江戸にいたときに暮らす

金沢

…中山道…

板橋宿

駒込

本郷

中屋敷 大名の子どもや引退した大名が

下屋敷

・参勤交代のときに着替える場所

・物資を保管する場所

・別荘地

前田家の国

下屋敷御林大綱之絵図 (部分) 文政七年 (一八二四) (金沢市立五川図書館近世史料館)

い 池と築山と稲荷社

緑色の山が築山。築山は人工の山。加賀公園に今も残っています。赤い鳥居は稲荷社。今は観明寺に移されています。



う 石神井川と水車

下屋敷の中には石神井川が流れ、水車もありました。江戸時代、水車はモノを動かす「エネルギー」としても重要でした。



加賀藩前田家の大名は、下屋敷の池で舟に乗ってお庭をめぐっていました。

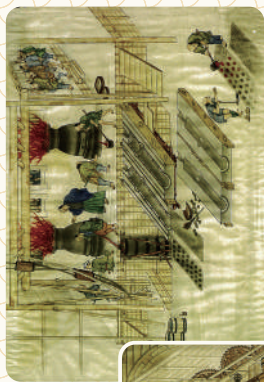


あ 下屋敷の館と畑

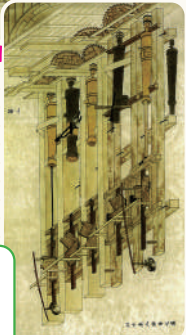
絵の下の方に見える建物は、下屋敷で過ごす時に使った館。畑では、加賀藩の地元の野菜を育てていました。



拡大図



ここで大砲を造りはじめます。江戸から近くて広い場所です。



大砲づくりのようす（江戸時代のおわり）

ここに水車

エネルギーをつくる水車が使えたからです

板橋宿 いた・来た!

いた!

いたばししく
板橋宿を
支えた人たち

たくさんの人・ものが行ったり来たり、運ばれたり届いたり…。にぎやかな板橋宿を支えていた人を紹介します。



来た!

来た!
らくだが

約 200 年前、板橋宿に「らくだ」がやってきました。らくだは砂漠が広がっている外国の動物です。なぜ来たのでしょうか…?



背中のコブ、長いまつげ、
長い首、おっとりした顔、
長い足…
みんな、どんなふうに見ていたのだろう?

江戸時代、外国の動物や道具などが「外国のめずらしいもの」として日本にもちこまれました。これらは、江戸幕府へのプレゼントや、めずらしいものを見せる「見世物」として人々に人気でした。

らくだも「外国のめずらしい動物」として各地をまわっていました。江戸に来る前に、板橋宿の豊田家に立ち寄りしました。



かずのみやとくがわけ よめ い たび 和宮、徳川家への嫁入りの旅

だいたい とくがわしょうぐんけ てんのう
代々、徳川將軍家のあとつぎは、天皇の家
族など高貴な家の姫と結婚をして、將軍家
＝武士のトップとしての身分の高さを保つ
ていました。

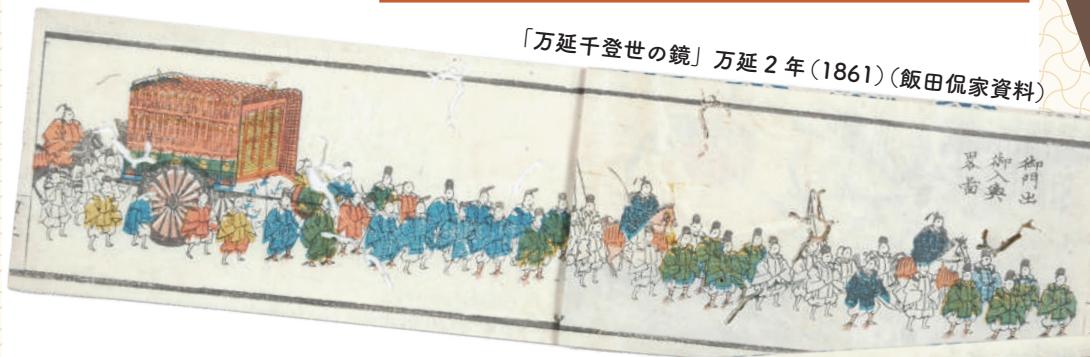
なかせんどう けっこんあい て ひめ
中山道は、その結婚相手となる姫が、京都
から江戸にくるときにつかった道です。

来た！

ひめ
姫が来た！

どんな人？

かずのみや (1846～1877年) は天皇家のひめ
和宮の姫。
京都生まれ。14代將軍徳川家茂と結婚。



「万延千登世の鏡」万延2年(1861)(飯田侃家資料)



けらい かずのみや
たくさんの家来たちが和宮を守りながら、
江戸まで歩いて行きました。

その人数は…京都から1万人、江戸から
1万5000人、途中からの手伝い4000人
…計3万人とされています！



行列が宿場に泊まって全員出発するまでに3日かかったよ！

なかせんどういたばししゅく ふうけい
中山道板橋宿の風景



京都
 ←

縁切榎

木下出世稲荷

智清寺

日曜寺

文殊院

石
神
井
川

富士塚がある
氷川町氷川神社

中宿の名主
飯田家

遍照寺

石
神
井
川



中山道

江戸

今は東光寺に!

東光寺

観明寺

平尾宿の名主
豊田家

東光寺のお地蔵様

川
越
往
還

すい水

よう川

かわ川

せん千

たか高

だ田

みち道

乗蓮寺

高田馬場

川越

大正
板橋

(足立区立郷土博物館 所蔵)

名所江戸百景 千住大はし 歌川広重(初代) 画
木曾街道板橋之驛 溪斎英泉 画

(板橋区立郷土資料館 所蔵)

木曾街道
板橋之驛

保来堂



東海道
五拾三宿
品川



(板橋区立郷土資料館 所蔵)

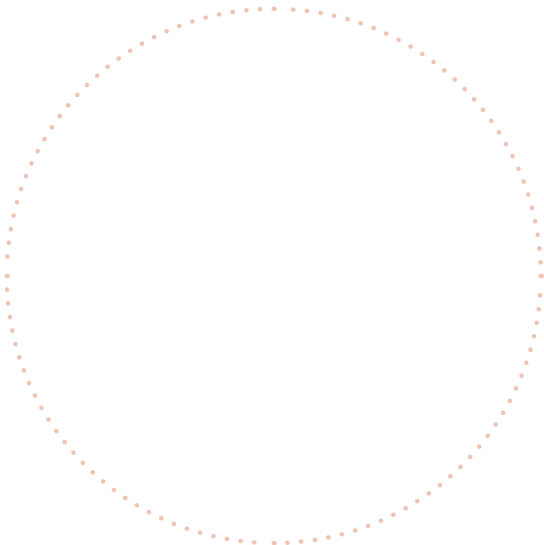
東海道五十三次之内品川日の出 歌川広重(初代) 画
玉川堤の花 歌川広重(初代) 画

(新宿歴史博物館 所蔵)



四谷濃州屋板

いたばしくりつきょうどしりょうかん
板橋区立郷土資料館

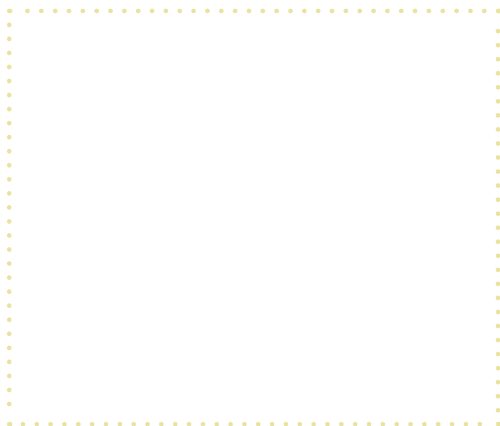


押お
した
日
を
スタンプを

月
日



いたばし^{かんこう}観光センター



押お
した
日
を
スタンプを

月
日



スタンプを押お
してみよう!





いたばし文化財ふれあいウィーク2025

いたばし区文化財

ぶらり れきしさんぽ

いたばし

発行 板橋区教育委員会
生涯学習課文化財係

印刷 明誠企画株式会社

令和7年10月9日 発行
刊行物番号 R07-65